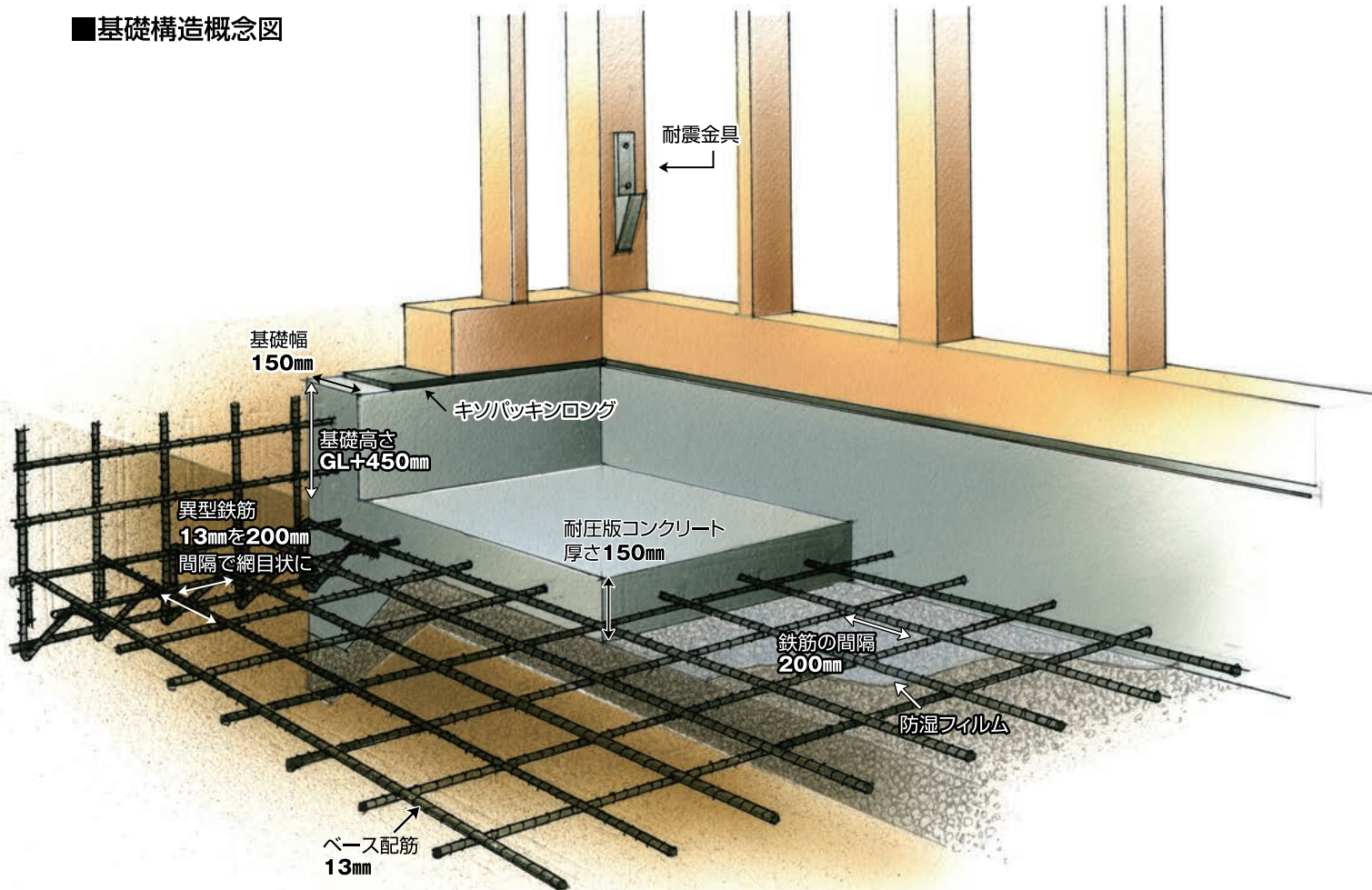


優れた安定性で家を支える ベタ基礎

基礎は建物を支える上で大変重要な部位です。通常は1階の壁の下だけに基礎を配置する「布基礎」と呼ばれる工法が一般的ですが、ケントホームズでは建物下全ての部分を基礎（耐圧版）にする「ベタ基礎」を採用しています。「ベタ基礎」にすることで地面と基礎の接地面積を広くし建物の荷重を分散して構造を安定させます。更にベースの厚みを150mmと厚くすることで耐圧版自身の強度を上げ不同沈下を抑制します。

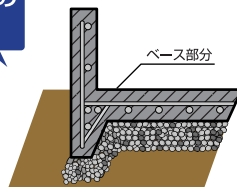
■基礎構造概念図



ここが違う！
ベタ基礎と
布基礎

ケントホームズの ベタ基礎

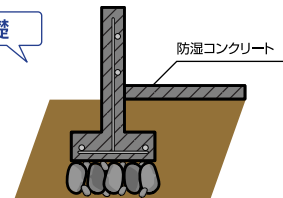
底部に鉄筋が入り基礎全体が一体化することで、建物の外周部や柱の下だけでなく、建物の下を全体的に支えます。



一般的な基礎

布基礎

壁の下にのみ基礎を連続して設置し建物を支えます。床下に湿気がこもりやすいという難点があります。



建物の大きな荷重を支えるためには、地面に接する面積の広い「ベタ基礎」が断然有利です。



〈布基礎の施工風景〉



〈ベタ基礎の施工風景〉

見えなくなってしまう部分だからこそ徹底してこだわります。

防湿フィルムを基礎の下全面に敷き込む

地中の湿気を床下に入れないようベース(耐圧版)の下全面に防湿フィルムを敷き込みます。防湿フィルムをコンクリートで覆うことにより完全に湿気をシャットアウトします。



キソパッキンロング

土台と基礎の間にはキソパッキンロングを敷き込むことで基礎内部の換気をしっかりと行いシロアリの侵入を防ぎます。

鉄筋配筋について

基礎の立上り部分の主筋には直径13mmの異形鉄筋を採用。また、ベース(耐圧版)部分は200mm以下の間隔で格子状に配筋、太く細かく配筋することで使用する鉄筋量を増やし強固な構造を創り出します。
※基礎の構造の計算によってベース配筋の設計を致します。



鋼製束

基礎のベース部分と大引きの固定を確実なものにするために強度の高い鋼製束を使用しています。シロアリや腐朽菌に侵されにくい防錆加工がされています。



ハウスシューズ弾性塗料で基礎を長期間美しく守ります。

基礎の表面は弾性塗料でコーティングします。汚れが付きにくく、同一色で統一された仕上りは外観を整えます。塗料自体の伸びる性質と非給水性で酸性雨などから基礎全体を守り、長年に渡って耐久性を維持します。



〈従来のハケ引き基礎〉



〈弾性塗料施工後〉



弾性率 200%

高い弾性率で基礎に追従し保護します。

建てた後の安心・安全を守るため地盤調査を全棟実施

どんなに基礎や建物が頑丈につくられていても、それらを支える地盤が安定していなければ不同沈下等が起こり、最悪の場合、基礎が割れたり家が傾いたりする恐れがあります。その為、セントホームズではお客様の土地がどのような状態にあるのかを判断するために全棟地盤調査を実施しています。調査の結果、必要な場合は地盤改良等のご提案をいたします。



耐震性

制震性

省エネ性